

宇宙生命哲学

ことのはじめ

59

北里環境科学センター
名誉顧問 / 宇宙生命哲学者

伊藤 俊洋

相模原あじさいサミット'23で講演します

新型コロナが5類に移行し、市民活動に活気が戻ってきました。昨年から準備されてきた「第一回相模原あじさいサミット'23」が、10月8日(日)に、藤野芸術の家(相模原市緑区牧野481-9)で開催されます。全館貸切で午前10時から懇親会を含めると午後8時まで、全23のプログラムメニューを用意したイベントです。テーマは、「誰でも安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」：医療・介護・福祉にくきて・みて・ふれるです。サミットの3大コンセプトは、体験型学習重視・異業種歓迎・Z世代の意見尊重です。言い換えると、子供と若者たちの声を積極的に聞く努力をする、教育研修は知識情報伝達型から達成感や自己啓発、一体感などの感情体験中心型へシフトする、従来の認識や価値観から大きく変化する系口は、異業種連携にある。このような理念のもとに、23のプログラムが採択されています。私は、トークセッションの6名の講師の1人として、「宇宙から見た人の命とSDGs」宇宙生

命哲学の視点から」のタイトルで講演します。

この他多彩なプログラムが企画されています。▽多世代カイギ▽プラスバンド演奏と楽器体験会&キッズダンス▽メタバース×在宅医療▽チャイルドライフ・感性アサインの体験▽障害平等研習▽音楽・絵画鑑賞・自然に触れる感情変化を見える化できる



あじさいサミット'23

測定器体験▽看護介護体験▽スポーツで身に付く5つの力：感謝の心・思いやりの心・傾聴力・チャレンジ精神・体力・運動能力の向上▽健常者による歩行器レース体験▽薬を運ぶドローン飛行見学体験▽もしバナゲーム大会。ゲームを通じて、人生において大切な「価値観」や、自分自身の「あり方」について、様々な気づきを得る。▽「イーとかード」。食べられなくなつてゆく自分を想定し、食に対する意思決定を支えてくれる35枚のカード▽完売画家の歯科医師は何故現代アートを描くのか? ▽「居場所体験」お題ゲームで若者と話をういのちの授業

▽最期を迎える前にお金はどうする。など。入場無料、入退出自由、JR藤野駅からのマイクロバスあり。それでは10月8日、藤野でお会いしましょう。



詳細は上記2次元コードから